

PFAS血液検査

昭島相互診療所では2024年5月より、発がん物質として注目されている有機フッ素化合物(PFAS)の血液検査を開始しました。研究ではなく通常診療の中で、PFAS血液検査を実施するのは、国内では初めてのことです。血液から体内のPFAS蓄積量を知って、健康被害の予防に役立てましょう。

検査項目 7つの「PFAS」PFAS・PFOS・PFHS・PFAN・PFDA・PFUnA・NMeFOSSA

料金 一般料金 11000円・友の会会員 9900円

実施 健生会 昭島相互診療所 診療時間内に受付の際「PFAS血液検査」とお申し出ください。

当日 受付⇒問診⇒採血⇒PFAS外来の予約となります。
採血結果が出るまでに**5週間**ほどかかります。

結果 結果をお伝えするPFAS外来は月・水・金の午前です。
予約制です。医師による採血結果の説明（無料）。
採血結果を踏まえ、異常値がある場合等、必要があれば各種検査をお勧めすることがあります（腹部エコーや血液検査、甲状腺関連検査など。この場合窓口負担あり）。

月曜日-土曜日 受付8:45～11:30
受け付けで「PFAS血液検査」とお申し出
ください。血液検査は予約不要です。



PFAS血液検査のおすすめ

Q1：なぜ、血液検査を始めたのですか？

A1：多摩地域や全国各地でPFAS汚染が明らかになり、PFASが健康被害をもたらす発がん物質として注目されています。健康被害を予防し、住民の皆様とPFAS汚染対策に取り組もうと検査を開始しました。

Q2：PFASは、健康にどのような影響を及ぼしますか？

A2：PFAS研究が進んでいる欧州や米国によると、腎臓癌や精巣癌、乳癌、甲状腺疾患、潰瘍性大腸炎、脂質異常、出産関連で低出生体重児や妊娠高血圧症などの発症に影響すると言われています。

Q3：血液検査でわかることは何でしょうか？

A3：血液検査では体内のPFAS蓄積量を知ることができます。PFASは環境中で分解されにくく、水や食品などを通して体内に蓄積されます。健診と同様に定期的に検査を受けることで、体内のPFASが減少しているかどうかを判断できます。

Q4：検査後は、どうしたらよいのでしょうか？

A4：結果を外来などで説明し、フォローが必要な場合、腹部エコーや血液検査等で体内を確認します。保険診療で行います。「PFASが100ppb」をもとに生活上のアドバイスも行います。

Q5：子どもは、血液検査を受けられますか？

A5：お子さんの体内汚染を心配される声を沢山頂いています。米国やカナダでは1歳～、欧州や韓国では3歳～検査の対象です。昭島相互診療所では、中学生以上から検査ができます。

Q6：高齢者に検査は必要ですか？

A6：だれもが「健康で安心して暮したい」と願っています。年齢に関係なく、定期的な健診と同じように血液検査をおすすめします。一緒に健康被害を予防しましょう。



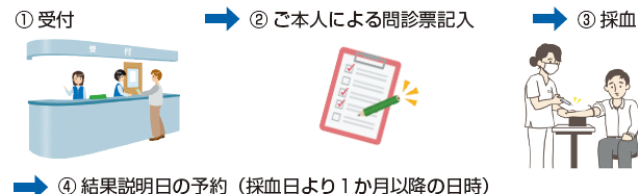
Q：有機フッ素化合物(PFAS：ピーファス)とは、何ですか？

A：人工的に作られた化合物です。水や油をはじき熱や薬品に強いので、原子爆弾や泡消火剤の製造など軍事利用に始まり、様々な工業製品・生活用品に使用されています。

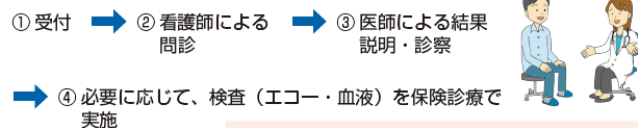
▶ PFAS血液検査の流れ ◀

- 検査項目：7種類のPFAS (PFOS・PFOA・PFHxS・PFNA・PFDA・PFUnA・NMeFOSSA) ※米国科学工学医学アカデミーの検査基準
- 料 金：一般 11,000円・友の会会員 9,900円 (税込)

1回目 採血検査



2回目 検査結果の説明



【PFAS合計20ng/mL超の場合、以下の検査を推奨】

- ・腎臓がんのスクリーニングとして腹部エコー
- ・甲状腺触診と甲状腺刺激ホルモン (TSH) 検査
- ・潰瘍性大腸炎のスクリーニングとして便潜血検査
- ・精巣がんに対して問診や触診
- ・乳がんに対して検診受診の確認・推奨
- ・脂質異常症の病歴確認と脂質検査

※PFAS血液検査結果が出るまでに4～5週間のお時間をいただいております。通常4～5万円する検査価格を抑えるため、血液検体がある程度集まってからPFAS測定装置にかけます。そうすることで1検査あたりの価格を抑えることができ、1万円前後で実施できることとなりました。